



ホームページ
「中野あきと」

日本共産党市議会議員 中野あきと・事務所ニュース

みどりと清流

中野あきと事務所

〒191-0041 日野市南平6-25-1

南平ビル1階

TEL・FAX 042-599-3350

発行責任者 小林 進

第156号

2015年
7月号

しん 赤旗
ぶん

日刊紙1ヶ月 3497円

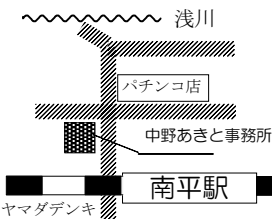
日曜版1ヶ月 823円

お申し込み 党南多摩事務所

TEL 042-374-4384

または中野事務所へ

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



都議選日野選挙区予定候補に 中野あきと党市議団長を擁立



記者会見を行う中野あきと市議団長（写真中央）と
左から中谷好幸市委員長、田川豊地区委員長、清水登志子市議、長嶺啓治都政対策委員

日本共産党南多摩地区委員会は6月10日に記者会見を行い、2017年に予定されている東京都議会議員選挙日野選挙区に、中野あきと党市議団長を擁立してたたかうことを発表しました。

前回都議選で日本共産党は議席を倍加し17議席となりましたが、都民要求実現に向け、さらに躍進するためには日野選挙区など多摩地域に多くある2人区での勝利が欠かせません。そのために5期18年、党市議団の先頭に立つて奮闘してきた中野あきと市議団長を擁立し、必勝を期してたたかうことになりました。中野市議団長は、市議としての役割を果たしながら予定候補としての活動を行います。

戦争はいやだ！ 平和憲法守ろう！ ピースパレード



日本共産党日野市議5人も横断幕を掲げて行進

「憲法守れ」「戦争法案反対」の声をあげて元氣よくパレード



7月5日の日曜日「戦争法案ストップ」「平和憲法を守ろう」と日野中央公園（日野市役所前）で集会が行われ、約550人が参加しました。その後豊田駅近くまでパレードしました。途中からの参加者などで、最終的には約900人が参加しました。

短信

雨の季節と知りつつも
毎日がうつとうしい。
「戦争法」をめぐる政府
答弁も湿気を帯びた洗
濯物のような。日本

の攻撃に向かうA国軍の戦闘機にB国が給油した場合、日本はB国をA国と一体と見なさないのかと問われ、外相が答弁に窮した▼誰の目にも一体は当たり前のこと。しかし「当たり前」を認めた途端、戦争法をめぐるこれまでの政府答弁は破たんするのだ。こんな「戦争法」を早く決めるという日野市議会自公公民の「意見書」。発端は政権党本部が出したであろうA4版の紙切れ一枚だった。お仕着せの文案にある「今国会で」「を早期に」と修正しただけで、手書きで日野市議会と書き入れ提出された▼傍聴席からは全ての議員の挙手が判断できるわけではないが、採決当日の傍聴者の話しを総合すると、賛成の挙手に少なくとも複数の議員の手が消極的だったと言えう。苦しい胸の内を党市議に明かした人もあったらしい。改めて知る与会会派のしがらみである。沖繩の様な共同が日野でもできる日を信じて▼7月5日、梅雨空を吹き飛ばすかのように大成功したピースパレード。「戦争はいやだ」の隊列が、延々と多摩平の街を行く。(K)

ごみ処理広域化問題

6月市議会でも明らかにになった3つの大問題

「その1」 「法令に反している」との監査の判断まで無視する日野市

「法令に反しており、不当であつたと言わざるをえない」 「市はゴミ処理広域化計画の進め方について、真摯に反省しなければならぬ」との監査委員の判断を、日野市はどう受けとめているのか：6月議会では日本共産党の追及に、「事務手続きに不当な点があつたと認められるものの、これまで通り計画を進めることに問題は無い」(部長)、「違法とは書いていない：違法ととられるような手続きを行つた」と「法令に反している」との監査の指摘を認めようとせず、ごまかしの答弁に終始しました。

「その2」 周辺住民の理解はまったく得られていない

日野市は、ごみ処理広域化を進めるにあたり「周辺住民の理解を得ることを大前提」と繰り返し説明してきました。そして、地元の新石自治会が3月下旬の総会で「反対運動の終結」を議決したことをもつて「理解をしていただいた」(市長)と見解を示し、広域化を正当化しました。しかし、当の新石自治会の会長自身が「賛成ではない。苦渋の選択」(都政新報記事)と率直にその心情を語っています。「理解が得られた」などと言える結論でないことは明らかです

また、日野市が「周辺住民」

の対象としてきた半径500メートルの住民の85%を占める浅川の南側の住民からは過半数を超える反対署名が市長に提出され、明確な反対の意志が示されています。

この事実を突きつけられた市長は、「署名いただいた方々にも最終的にはやむなしと認めていただくような努力を続けていきたい」との信じがたい答弁。

結論と既成事実を押しつけて断念を迫るようなやり方は、「市民参加」とはもつとも対極にある市民不在の独断政治そのものです。こんなやり方で「やむなし」と断念させ「理解を得た」などとする市長には、もはや地方自治を担う資格はありません。

「その3」 またもや市民参加めきで「プラスチック再資源化施設」へ向け予算化

「住民との合意形成過程が十分であつたとは言えなかつた」「ゴミ処理広域化計画について、真摯に反省しなければならぬ」：監査委員による厳しい指摘も、まったく意に介さないかのように6月議会に「プラスチック類再資源化施設整備支援事業」を予算化してきました。

プラスチックの再資源化施設は、圧縮・減容・梱包などの過程で健康や環境への様々な懸念も出されてきている施設で、どこに設置するのか、その対応を含め住民の参加と合意が欠かせません。

そうした施設を、またぞろ結論と期限先にありきで予算化してしまうなど大問題です

6月日野市議会

自民、公明、民主が「戦争法案」推進意見書を強行

6月17日の日野市議会最終日、国民の8割が今国会の成立に反対している「戦争法案」の推進意見書が強行されました。意見書案は、「必要な審議が尽くされた際には、平和安全法制の早期の成立を強く求める」という内容で、自民党議員が提案者となり、公明、民主市民クラブ3会派の議員全員が賛成して可決されました。

質疑の中で日本共産党と無会派の議員が、意見書案の問題点について徹底的に追及。提案者の自民党議員は「(ここは)議論する場ではない」「法案の違憲性について最終的に判断するのは最高裁。私は自民党公認の市議なので合憲だと信じるしかない」など無責任な答弁に終始しました。

また、日本共産党の「国民の8割は今国会での成立に反対している。早期成立を求める意見書案は民意に反しており許されぬ」との追及に自民党議員は「安全保障環境の厳しさを考えると早期成立が必要」との答弁を繰り返すばかりでした。

日本共産党は、歴代自民党幹部や民主党代表らの声も示しながら「『安全保障の環境が変わったから』と憲法違反の法案を、勝手に解釈を変えて『合憲』と主張するのはあまりに見識。立憲主義にも民主主義にも反するやり方だ」と厳しく批判、意見書案に反対しました。

平山6丁目の京王ストア跡地について

昨年9月に閉店となった平山6丁目の京王ストアの跡地について、このほど、コンビニエンスストア・セブンイレブンとして新たに開店することがわかりました。

閉店後、市議会でも、買い物難民と言われるような深刻な状況が生まれていることなどを伝えながら、市としても京王に対し社会的責任を果すよう積極的に働きかけてほしいと求めてきました。

また、抜本的に地域の再生へ向けて、商店や商店街の支援・振興に本腰を入れるよう求めてきました(前々月号)。引き続き、地域商店や商店街の再生・活性化へ取り組みます。ご意見、ご要望をお聞かせ下さい。

《2015年 8月の無料法律相談》
市役所6階 共産党控室 午後1時～3時
8月 13日(木)
※予約が必要ですので、お申し込み下さい。

ご感想・ご意見を
お寄せ下さい。